

平成 2 7 年 第 1 5 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 7 年 8 月 1 1 日（火）午後 1 時

場 所：教育委員会室

教育長	白 井 正三郎
教育長職務代理者	石 井 正 治
委員	上 野 操
委員	松 原 秀 成
委員	尾 上 郁 子

事務局	教育推進課長	柴 田 靖 弘
	学務課長	住 田 雅 一
	指導室長兼教育研究所長	稻 垣 達 也
	学校施設担当課長	佐 藤 弥 栄
	統括指導主事	中 山 兼 一

書 記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	岡 田 隆 史
	同 主査	飯 田 常 雄

	開 会 時 刻 午後 1 時
白 井 教 育 長	<p>ただいまから、平成 2 7 年第 1 5 回教育委員会定例会を開催します。</p> <p>本日は 5 2 名の方から傍聴の申し出がありましたが、抽せんの結果 2 0 名の方の傍聴を許可したいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは、傍聴人の方の入室を許可いたします。</p> <p>〔傍聴人入室〕</p>
教 育 長	<p>では、初めに日程第 1、署名委員を決定します。石井委員と松原委員にお願いします。</p> <p>続いて日程第 2、議案の審議にまいります。</p> <p>初めに第 4 5 号議案、平成 2 8 年度中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。平成 2 8 年度江戸川区立中学校で使用する教科用図書の採択をここでやりたいと思います。</p> <p>江戸川区教育委員会におきまして、江戸川区教科用図書採択のための要領及び江戸川区教科用図書採択のための細目に基づき、教科用図書選定資料検討委員会について、それまで十分に検討していただきました。</p> <p>また、各教育委員の皆様には、教科用図書選定資料検討委員会の報告並びに区民の方々の意見及び各中学校からの調査研究報告書などについても参考にさせていただきながら、全ての教科書について時間をかけてじっくりご検討していただきました。それでは、教育委員の皆様の審議をお願いしたいと思います。</p> <p>まず、初めに国語です。国語の教科用図書は、東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の 5 社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
石 井 委 員	<p>東京書籍は、各領域バランスよく構成されています。巻頭に 1 年間の学習の流れが示されており、生徒が見通しを持ちやすい工夫がされています。</p>
教 育 長	<p>他には。</p>
尾 上 委 員	<p>学校図書は、初めの 1 ページに、この教科書を使うあなたへという、そう</p>

<p>教 育 長</p>	<p>いう説明が掲載されております。しかし、やや高度な内容の印象を受けました。</p> <p>今、お二人の委員から2社、教科用図書のご意見をいただきましたが、教科書は内容の質、そして生徒にとって学びやすいものか、また読みやすくなっているかが重要な項目だと思います。その視点から、内容面はご意見ございますでしょうか。</p>
<p>上 野 委 員</p>	<p>三省堂は、文章資料の後に読み方を学ぼうという資料ページがありまして、学習の広がりや他の文章へのつながりが持てるように工夫されていると思います。</p>
<p>松 原 委 員</p>	<p>教育出版は、古典の資料を求めている中で、蜘蛛の糸、それから坊ちゃんなどの作品を取り上げております。生徒たちが若干、苦手意識を持ちやすい古典と現代をつなげるなどの配慮が見られると思います。</p>
<p>石 井 委 員</p>	<p>光村図書は、読み物教材の振り返りページに、学習の窓を設けています。学習のポイントが簡潔にまとめられ、生徒が振り返り学習をしやすい工夫がされていると感じました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>今3社の教科書、それぞれの工夫についてご意見をいただきました。本区は読書科がございます。関連図書の取り扱いも、このようなことで大切になってくると思いますが、その視点から見て、ご意見ございますでしょうか。</p>
<p>上 野 委 員</p>	<p>その点から言いますと教育出版は、豊富な関連図書を紹介しております。充実していると思います。読書を広げていくには十分かと思えます。</p> <p>光村図書は、著名人からのメッセージがある読書コラムが掲載されておりまして、生徒も親しみを持てるような編成になっていると思えました。</p>
<p>尾 上 委 員</p>	<p>教育出版、光村図書は、取り上げている作品の内容もすばらしいです。あと、現場の教員の支持も高いようです。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>今、関連図書の取り扱いの視点からご意見をいただいたところでございますが、今、教育界では、生徒に自分の考えをしっかりと発信させるために、言語活動が注目されているところでございます。お話に出た教育出版、光村図</p>

	<p>書のこの2者の言語活動の取り扱いについて、いかがでしょうか。</p>
石井委員	<p>教育出版では、話し合いの方法でPTAでもおなじみのバズセッションを取り入れたり、写真、グラフを見て考えを述べたりする活動を取り入れております。</p> <p>光村図書は、活動の形態がイメージしやすいように、写真や図で示すなどの工夫が見られます。</p>
松原委員	<p>指導していく先生の立場から考えますと、教育出版は、先生方の自由度が大きいのかもしれません。</p>
上野委員	<p>今の松原委員に対して質問なのですが、自由度が高いとの発言がございましたけど、もう少し、その意味をお聞かせいただけないですか。</p>
松原委員	<p>教育出版なのですけれども、読み物を学習した後に最小限の指導例を掲載しております。</p> <p>つまり、このとおりに指導してくださいという教科書よりも、どの指導法で教えようかなと、指導法を自由に考えることができるというふうに思っております。</p>
尾上委員	<p>教育出版の巻末には、学びのチャレンジとして掲載している資料が、別の角度から学習したり、他の言語活動に捉え直したりして、思考力とか判断力、表現力の育成につながるものが載っていると思います。</p>
教育長	<p>今、皆さんからいろいろなご意見をいただいておりますが、内容とか生徒から見た学びやすさ、また関連図書、言語活動。また先生の指導法の自由度等々もいただきましたが、これらと区民の声も総合的に考えてまいりますと、教育出版を支持する声が多いように感じます。</p> <p>国語の教科用図書については、教育出版ということではいかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>異議なしということでございますので、それでは国語の教科用図書については、教育出版といたします。</p> <p>次に、書写に移ります。書写の教科用図書は、東京書籍、学校図書、三省</p>

	堂、教育出版、光村図書の5社です。それでは、審議をお願いいたします。
石井委員	書写は、字形や文字の大きさに気をつけることが基本と考えますが、学んだことを、その他の学習や実生活に役立てる態度を育てるということも大切だと思います。
尾上委員	毛筆に触れる機会の少ない世代だと思います。よりわかりやすく説明をしなければいけないと、その点は感じます。
上野委員	東京書籍の、教材ごとに目標を示して自己評価を記入できるような工夫があります。行書のさまざまな筆の動きも紹介されており、わかりやすくまとめているのではないかと思います。
松原委員	学校図書なのですけれども、教科書に直接書き込むことができるようになっておりまして、硬筆による書き方の練習ページが記載してあります。手本のページが、その手本に特化しておりまして、初めて出会う行書についての説明が、もう少し欲しいかなと思います。
石井委員	三省堂は、自分の文字と題しまして、手書きによる文字の使用を呼びかけるような文章や写真を掲載しています。さらに、毛筆の運筆を硬筆で練習することができるような練習になっています。
上野委員	筆使いを丁寧に取り上げているのは、教育出版と光村図書と思います。毛筆に初めて取り組む生徒が戸惑わないように、筆の置き方まで丁寧に説明しています。
教育長	今、教科書に工夫されている点とか若干足りない点等々ご意見いただきましたが、ご案内のとおり江戸川区は、毎年多くの教員の初任者が入ってきます。若手の教員にとって、教えやすい教科書という視点での選定も大切だと思いますが、そのような視点から、いかがでしょうか。
尾上委員	朱墨で書くことによって運筆をわかりやすく示したのは、東京書籍、教育出版、光村図書です。生徒だけではなくて、教員にとっても気をつけたいポイントが提示してあるというのは、非常に指導がしやすいのではないのでしょうか。

教 育 長	指導面からいただきましたが。
松 原 委 員	教育出版なのですが、考えよう、生かそう、それから振り返ろうという三つの段階に流れがなっております。これは、生徒にとって目当てを持ちやすい学習の流れになっているように思います。
教 育 長	生徒のほうからのご意見いただきました。
石 井 委 員	光村図書は、国語の教科書と同じように、学習のポイントが一目でわかる学習の窓が記載されておりまして、丁寧なつくりになっていると感じました。
松 原 委 員	教育出版なのですが、筆先の向きを写真で示したり筆順も提示するなど、丁寧に構成されているように思います。若い教員にも教えやすく、生徒にとっても文字を書くときのポイントになるのではないのでしょうか。
教 育 長	<p>他に、よろしいですか、ご意見のほうは。</p> <p>今、それぞれの教科書について工夫はしていますが、筆自体を丁寧に取り上げている点とか教員にとって教えやすく、生徒も習うポイントがつかみやすいなどの点から、あと区民の皆さんからも、筆を大切にしてほしいという意見が多かったと思いますが、そのようなことでは教育出版を支持する声が多かったように思います。書写の教科用図書については、教育出版を採択しようと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは書写の教科用図書につきましては、教育出版といたします。</p> <p>続きまして、社会、地理的分野に移ります。社会、地理的分野の教科用図書は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
松 原 委 員	<p>地理の学習では、地図や統計資料は大変重要になります。生徒が知識を広げ、深めていくために、資料を読み取る技能が大切です。</p> <p>東京書籍は、地図や統計資料に解説や説明をつけ、資料の読み取りの視点を丁寧に表記しております。</p>

	<p>帝国書院も同様ですが、さらに技能を磨くという特設のページがよいと思います。</p>
石井委員	<p>日本文教出版も、年間を通して系統的に資料の読み取り技能を習得できるようなワークがあります。作業を通して知識を身につけ、技能を磨けるようなつくりとなっています。</p>
教育長	<p>今、お二人の委員からご意見をいただきましたけど、地理を学んでいく上での内容の視点で、いかがでしょうか、ご意見があれば。</p>
尾上委員	<p>世界のさまざまな地域の特色においては、東京書籍が一番多くページを割いていると思いました。</p> <p>教育出版は、多くの国を取り上げていますが、その分、日本の地域についてのページが、やや少なくなっています。</p> <p>また、東京書籍と日本文教出版は、世界と日本をバランスよく取り上げていると、そのように思いました。</p>
石井委員	<p>4出版社とも、自ら学ぶために必要な情報、知識というものは十分に盛り込まれていると思われます。</p> <p>東京書籍では、毎時間ごとの学習内容の確認や課題によって学習の定着を図り、学習を深めるための作業や活動を紹介しています。</p>
松原委員	<p>他の出版社なのですが、教育出版は、毎時間の学習の要点、振り返りが設定されています。</p> <p>帝国書院は、学習内容の確認だけでなく、自分の言葉で説明する活動を取り入れております。</p> <p>そして日本文教出版では、問題形式で学習内容の確認や説明ができるよう設定されているのではないかと思います。</p>
上野委員	<p>我が国の領土、領域をめぐる問題についてはいろいろな面がございますが、各出版社による記載の仕方を見ますと、それにも違いはございます。</p> <p>しかし、基本的には検定を通った教科書を使用するのですから、要は教員が、学習指導要領に基づいて指導をしていくということが大切なことなのではないかと思います。</p>

教 育 長	<p>今、各委員からのご意見、各社とも知識の確実な習得といろいろな面で工夫していると、本当に思います。</p> <p>そうすると、今度は学び方という視点が重要になってくると思いますが、その視点からご意見いただけますでしょうか。</p>
尾 上 委 員	<p>4 出版社ともに、毎時間に学習課題を設定してあります。調査、探求が求められる章では、東京書籍、帝国書院は、最初に調査の手順を丁寧に示し、生徒が自主的に調査、探求ができる内容になっていると思います。</p>
上 野 委 員	<p>帝国書院の、いわゆる調査テーマを決める、資料を集めて調べる、それから調査結果をまとめる、調査結果を発表するというシンプルな流れが、生徒にとってはわかりやすいのではないかと思います。言語活動を充実させる視点では、レポートの作成や発表方法などの丁寧な説明があるのはよいです。</p>
石 井 委 員	<p>生徒に与える知識、情報量等、生徒が自ら学び、探求していく点というものを考えあわせると、帝国書院はバランスがよくできていると思います。</p>
教 育 長	<p>今、皆さんのさまざまなご意見をお聞きいたしました。地図、それから統計資料、それから内容、さらに学び方、今、生徒にとってのわかりやすさとか、バランスというお話もございましたけども、社会、地理分野の教科用図書については、帝国書院を採択しようと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは社会、地理分野の教科用図書については、帝国書院といたします。</p> <p>次に、社会、歴史的分野です。社会、歴史的分野の教科用図書は、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社、学び舎の8社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
上 野 委 員	<p>東京書籍は、時代を捉えるという点では、各章の最初の年表と見開きで数字やイラストを示してあるので、時代の流れがわかりやすいと思います。</p> <p>それから教育出版ですが、毎時間に学べる全ページに、その時代が何世紀ごろの出来事であるかがわかるように年表を載せているのが、特徴的だと思います。</p>

松原委員	<p>清水書院ですが、各章の最初に、その時代の特徴をあらわす史跡の写真を載せています。吹き出しで課題も設定しています。この課題は、その時代の特徴を調べるためのものでありまして、生徒が時代の特徴をつかむのに役に立つのではないかと思います。</p> <p>また帝国書院は、毎時間の学習課題を最初に提示しまして、学習の終わりに確認しよう、説明しようのコーナーを設け、歴史的事象を確実に押さえられております。</p>
尾上委員	<p>日本文教出版ですけれども、各章、その時代の特徴や知識を年表で示しています。また各左ページの端に、そのページで取り上げている時代や世紀が記載されておりますので、生徒は、今の時代名と世紀を確認し、その時代の特徴をつかむことができるのではないかと思います。</p>
石井委員	<p>育鵬社の1センチメートルを100年の幅にあらわした日本の歴史物差しは、時代の長さを見取る方法として工夫されていると感じました。各時代に取り上げる歴史的資料も、特徴的であります。</p> <p>自由社の各章の始まりには、その時代の特徴的な歴史的資料の写真が掲載されています。また、取り上げる資料や歴史的事象も、特徴的なものとなっていると感じました。</p>
上野委員	<p>特徴的という意味では、学び舎は、他社よりも大判になっております。写真資料が大きく掲載されており、また掲載されている資料自身も、特徴的であると思いました。</p>
教育長	<p>一通りご意見いただきましたけど、各社の特徴的な点、物についてお話しいただいたと思いますけども、今度は歴史の学びとか自分の考えを表現すると、そんな活動についての視点から、ご意見いただけますでしょうか。</p>
松原委員	<p>各出版社ですが、毎時間に、その時代の特徴を説明させたり論述させるコーナーを設定しております。</p> <p>自由社は、章ごとにも時代ごとの比較やひとこと作文、意見交換会などの課題を設定しております。</p>
石井委員	<p>育鵬社も各章ごとに自分の考えと、その理由を記述させる課題を設定しております。</p>

	<p>学び舎は、ゲーム形式やグループ発表などでまとめる設定となっております。</p>
教 育 長	<p>今、歴史を学び、自分の考えを表現する活動についてご意見をいただきましたけど、学び方という視点から、今度はご意見いただけますでしょうか。</p>
尾 上 委 員	<p>帝国書院は、時代ごとの接続や転換を明確にしたページがあり、時代ごとの特徴をつかんでいく学習はいいと思います。</p> <p>また日本文教出版も特設ページで、前の時代と比較して時代の変遷について考えていけるように工夫をしていると思います。</p>
上 野 委 員	<p>清水書院は、各時代の特徴と時代を捉えさせた後に、キャッチコピーづくりをさせ、時代の特徴や転換をつかむようにしています。</p> <p>教育出版は、資料や系図の見方など、資料を読み取る方法について説明を丁寧に行っていると思います。</p>
松 原 委 員	<p>東京書籍では、序章において歴史の学び方や調べ学習の方法、そしてまとめ方について多くのページを割いて説明をしています。生徒が進んで学習するための道しるべとなるのではないのでしょうか。</p>
尾 上 委 員	<p>社会科の目標にある平和で民主的な国家・社会の形成者と、そのような生徒を育成するには、日本の伝統文化をしっかりと学ぶだけではなくて、世界の中の日本をしっかりと学ぶことというのも大切なことだと思っております。</p>
石 井 委 員	<p>その点でいきますと東京書籍は、年表の中で外国とのかかわりを、アジアとのかかわりだけではなくて、欧米とのかかわりも記載しております。世界の中の日本を大観するため役立ちます。加えまして、さまざまな立場からの表記になっておりまして、その時代の特徴の背景をも探ることができると感じました。</p>
上 野 委 員	<p>私は歴史学習について大切なところは、各時代の特徴をしっかりとつかんで、次の時代への変遷の必然性を理解させることではないかと思うのです。</p> <p>その点からいたしますと、東京書籍が学び方についての説明がありまして、適切かなと思います。</p>

松原委員	<p>同じく東京書籍では、理解しやすい学習の流れの手だてがさまざまなところに見られます。生徒にとって、また教える教員にとっても活用しやすいのではないかと、このように考えます。</p>
教育長	<p>他には、よろしいですか。</p> <p>今までの皆さんのご意見をお聞きしますと、何点か、いろいろな視点からお話ししていただき、ご意見をいただきましたけど、総体的に東京書籍のよさについての声が上がっていたかなと思います。</p> <p>そこで社会、歴史分野の教科用図書については、東京書籍を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>それでは社会、歴史的分野の教科用図書については、東京書籍といたします。</p> <p>次に、社会、公民的分野です。社会、公民的分野の教科用図書は、東京書籍、教育出版、清水書院、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の7社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
松原委員	<p>公民の学習で大切なことは、社会が成り立ち、持続させていくためのルールをしっかりと見たりすることだと思います。</p> <p>その点から考えますと、公民をどのように学んでいくかが重要になるのではないかなと、このように思います。</p>
石井委員	<p>東京書籍では、公民にチャレンジという特設ページで、個人やグループで行う作業や活動を多く取り入れています。選挙シミュレーションやお金の使い道を考えようなど、現代社会の政治、経済、福祉など、さまざまな視点で現代社会について考えさせているのは、よいなと思いました。</p>
尾上委員	<p>教育出版は、資料を読み深めていくテーマ学習や言語活動を重視しています。同様に清水書院もテーマ学習を取り入れて、社会を多角的な視点で捉えるように工夫されていると思います。両者とも、生徒が学習する内容を深めて、より進んで公民を学んでいくという手だてがなされていると感じます。</p>

上野委員	<p>帝国書院ですが、進んで学ぶ手だてとして、未来の社会をつくるための取り組み、少子高齢化、情報化、グローバル化、人権、平和、環境とテーマに分けて紹介しておりますが、そこが特徴的だと思います。</p> <p>自由社は、もっと知りたいの特設ページを設定して、学習内容を深めております。また、ここがポイントは、毎巻の重要となる事柄をわかりやすく要約していると思います。生徒が学習のまとめをするのに役立っているという感じがします。</p>
松原委員	<p>日本文教出版は、学習内容の理解を深めるためのコーナーや資料活用技術や技能や作業学習を促す特設ページが、他の出版社に比べて充実しているように見えます。</p> <p>また、育鵬社の学習内容を深めるための特設ページを随時設定していますが、他社とは違い、家族や地域を題材に探究活動を行う課題を設定しているのは、生徒にとって身近なところから公民を学ぶことができると思います。</p>
教育長	<p>7社について、いろいろな特徴的な点をお話しいただきました。公民をどのように学んでいくかという学び方とか学習を深めるという点では、本当に、それぞれ各社とも工夫されているように思います。</p> <p>次に、内容面というところから、ご意見いただけますでしょうか。</p>
松原委員	<p>帝国書院、東京書籍、教育出版の三つの出版社は、それぞれの章の内容のバランスがよいと思われます。持続可能な社会については、各出版社とも触れていますが、東京書籍と自由社は、持続可能な社会に関する記述が丁寧であると思われます。</p>
上野委員	<p>昨今注目されている選挙制度についてですが、各社とも取り上げておりますが、東京書籍は、特設ページを2カ所もつくって、選挙に対する理解、意識を高める工夫がされているところが評価されると思います。また領土問題に関しても、さまざまな立場の意見を挙げ説明しているというのも、適切だと思います。</p>
石井委員	<p>私は公民と言いますと、学ぶだけではなく、学んだことから、さらに進んで考える、考えさせるということが大切だと思っております。</p> <p>その点からしますと、東京書籍では、生徒に考えさせる場面を多く設定していると思いました。</p>

尾上委員	<p>私も石井委員と同じように、知識も確実に身につけて、さらに自分の考えを持って議論をしていくということは、本当に大切だと思います。このような学びが本当に立派な社会の一員を育てていく、そういうふうな過程になると思っております。</p>
教育長	<p>今、皆様のご意見をお聞きしておりますと、学び方、それから学習を深めるということへの工夫、それから内容面、それからご意見でいただいた学んだことから考えさせるとか、それから議論していくということも大切です。そういう視点からお話しいただきましたけど、東京書籍が、いいのではないかというお声が多いと思いますが、社会、公民的分野の教科用図書について、東京書籍を採択しようと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>それでは社会、公民的分野の教科用図書については、東京書籍といたします。</p> <p>次に、社会の地図です。地図の教科用図書は、東京書籍、帝国書院の2社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
石井委員	<p>先ほど地理的分野の話の中でも出てまいりましたが、地理の学習におきましては、地図や統計資料を読み取るということなどは非常に重要になっております。知識を広げ、深めていくためにも、地理の学習にかかわらせながら地図帳を活用することが大切だと思います。</p>
尾上委員	<p>地図の読み取りの前提としては、やはり大きく示されているほうが読みやすいのではないのでしょうか。</p> <p>帝国書院は、世界全体、日本列島を見開きの3ページで大きく示してあるのは、大変見やすいかなと思えました。</p> <p>また東京書籍は、世界の各州、日本の各地方を大きく、見やすく示してあると思います。</p>
教育長	<p>今のお二人の委員のご意見を聞きますと、地図の見やすさという点では2社とも、いろいろ工夫して特徴があろうかと思えます。</p> <p>それでは統計資料等の視点から、ご意見いただけますでしょうか。</p>

石井委員	<p>地図帳の活用方法を説明するページを比べてみますと、帝国書院では、基本的な活用方法だけではなく、地域の特徴を押さえるポイントという特設ページを設定し、資料読み取りのポイントを示しているのがよいと感じました。</p>
上野委員	<p>その点について言いますと、帝国書院も東京書籍も、ともにそれぞれの国に関連する資料を随所に入れておりまして、知識を深めるための工夫がなされていると思いますが、帝国書院のほうが、産業や生活に関する資料が充実しておりまして、地図から、それぞれの国や地域への特徴、その広がり丁寧に記載されていると思います。</p>
松原委員	<p>やはり地図帳と地理との連携は、大切なのではないかなと考えます。地理的分野と地図は同じ出版社のものが、生徒にとっては使いやすいのではないかなと考えます。</p> <p>そう考えますと、帝国書院になるのかなというふうに思うのですけれども。</p>
教育長	<p>今の帝国書院にというお話なのですけれども、ご意見いただいたところですが、他にご意見は、よろしいですか。</p> <p>今、地図の見やすさとか統計資料、その読み取り、生徒の使いやすさ、地理的分野との連携、このような視点からご意見いただいて、地図の教科用図書については、帝国書院を採択しようと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>それでは地図の教科用図書については、帝国書院といたします。</p> <p>次に、数学です。数学の教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
石井委員	<p>数学科では、身につけるべき基礎的、基本的な内容の習得が重視されています。</p> <p>その意味では、どの教科用図書も適切な例や問題が示され、基礎的、基本的な事柄を確実に習得できるような工夫がされていると思います。</p>
尾上委員	<p>生徒の学ぶ意欲を高めつつ、また数学的な表現や処理を確実に習得させる</p>

	<p>ためには、例や問題が多いと教師からの説明の時間が増えることが考えられるのではないのでしょうか。</p>
上野委員	<p>確かに、例題と問題の割合のバランスが大切だと思います。</p> <p>その点から言いますと、バランスよく編集されているのは、教育出版、東京書籍、学校図書、日本文教出版ではないのでしょうか。</p>
松原委員	<p>教科用図書のページ数が多過ぎると、生徒がじっくりと試行錯誤したり説明し合って伝えたりするための時間の確保が難しくなります。</p> <p>この点で考えますと、東京書籍、数研出版が、ほどよいページ数かなというふうに思います。</p>
石井委員	<p>基礎的、基本的な内容の習得には、その裏づけとなっている原理や法則についての理解を深めることが大切だと考えています。東京書籍、大日本図書、啓林館、これらの教科書は、押さえるべき法則や公式、定義、性質、条件の扱い方についてバランスがよいと思いました。</p>
上野委員	<p>さらに学ぶ意欲という点では、東京書籍、学校図書が、個に応じた発展的な題材を多く取り上げており、定着が十分で、数学が得意な生徒にも対応しているように思われます。</p>
松原委員	<p>今、生徒の現状を考えますと、習熟の個人差が大きく、定着が十分でない生徒への対応が必要になります。</p> <p>その点におきましては、どの教科用図書も、学び直しの機会や習熟の遅い生徒への手だてが工夫されていると思います。</p>
教育長	<p>今まで皆さんにご意見いただいて、例題と問題の割合のバランスだとか、ほどよいページ数というお話ありましたが、法則や公式などの扱い方のバランス、また学ぶ意欲への工夫というのでしょうか、習熟度の個人差が大きいというようなこともありますから、その中では、東京書籍と学校図書を推すご意見が多いようですが、他にご意見とかありますか。</p>
尾上委員	<p>どの教科用図書も思考力や判断力、表現力を高めるためのノート資料や学び合いの方法が示されております。</p> <p>東京書籍、啓林館の2社は、第一学年におけるノート指導がとても丁寧に</p>

	扱われていると思います。
上野委員	そのノート指導の件ですが、この2社は、黒板を書き写すだけではなくて、自分の考えと友達のことを比較して、共通点や相違点を見出すことの重要性が、具体的にわかるようです。
松原委員	その点で考えますと東京書籍は、例と問いの間に確かめがあり、特に習熟の遅い生徒にとっては、例を手本にして学び直すことができるため、有効な手だてであると考えます。
教育長	他にご意見、よろしいですか。 なければ、さっきお話ししたバランスのお話等々と、今、ノート資料のお話とか手本に学び直すことができるのか、そんなお話をいただきましたが、東京書籍を推すご意見が多いように感じました。そこで数学の教科用図書に對しましては、東京書籍を採択しようと思いますが、いかがでしょうか。
	〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
教育長	それでは、数学の教科用図書は、東京書籍にいたします。 次に、理科です。理科の教科用図書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社です。それでは、審議をお願いいたします。
石井委員	どの教科用図書も、観察、実験のねらい、課題等を示してありまして、生徒が目的意識を持って取り組めるように配慮されております。 大日本図書は、観察、実験の前に話し合おうという学習活動を設けており、目的意識を一層高めようとしていると感じました。
尾上委員	観察、実験の進め方についても、各社ともスモールステップで手順を示しているのが理解しやすい、そういうふうになっていると思います。 また結果と考察の違いについても触れられていますが、東京書籍や学校図書では、結果や考察の書き方を具体的に説明しているのがいいなと思いました。
松原委員	理科の学習では、実験、観察を通してわかったことをもとに考えたり、またディスカッションしたりすることで、科学的に物事を考える力の基礎が培

上野委員	<p>われます。</p> <p>そのような意味で、どの教科用図書も、内容は充実していると思います。</p> <p>レポートの書き方について見ますと、各社とも取り上げております。</p> <p>東京書籍は、1年生の巻頭に特集が組まれています。それから説明が簡潔、丁寧でわかりやすいと思います。また話し合いの仕方や発表の仕方についても示されております。言語活動の充実を意識した編集になっていると思います。</p>
松原委員	<p>生徒にとってわかりやすいという意味で考えますと、例えば各出版社の玉ねぎの細胞分裂のページを比較してみますと、東京書籍の写真が特によいというふうに思います。他の写真や資料も豊富なので、生徒が自分で学習を進めるときに、とても役に立つのではないかなと思います。</p>
教育長	<p>4人の委員の皆さんから、それぞれご意見いただきました。それぞれの本だったと思いますが、続いて教科用図書全体の構成の視点からご意見をいただきたいと思いますが、ご存じのとおり、前回採択から指導の順序性についての規定がなくなって、学年ごとの分冊となりました。</p> <p>それで単元も入る順序に特徴がありますので、少し私のほうから、もう皆さん何度もお読みのことですが、東京書籍と大日本図書は、意図的に単元を配列しています。学校図書、教育出版は、一分野、二分野の順で配列しています。啓林館は逆に、二分野、一分野の順で配列になっております。</p> <p>このようなことで、ご意見いただければと思っておりますが。</p>
上野委員	<p>自由な取り扱いができるという意味では、順序性を示していない教科書も魅力があると思うのですが、やはり学習の系統性をきちんと考慮して、単元を意図的に配列している東京書籍、大日本図書のほうが、やはり扱いやすいのではないかなと思います。</p>
教育長	<p>意図的なほうがということで、今、ご意見いただきましたが、次に学習の流れについて、いかがでしょうか。</p> <p>特に小学校との関連について、各社ともよく配置されていると思いますが、どの学年で、どのような内容を学んだかを示して、既習事項に立ちかえるようにしているのは大切なことだと思いますが、そのような視点から、ご意見をいただければと思っておりますが。</p>

石井委員	<p>東京書籍は、単元の初めに学ぶことがあり、章ごとに、これまで学んだことが掲載されております。図を活用しながら具体的に書かれているので、これまで学んだ事柄、既習事項を確認しやすい編集になっております。</p> <p>一方、大日本図書、教育出版では、単元の学習と既習事項の確認が同じページに示されております。</p> <p>教育出版では、関連する単元名に触れるというつくりになっております。</p>
尾上委員	<p>啓林館は、単元の初めにねらいがあります。章ごとに振り返りの欄が設けられているのが、特徴的だと思います。</p>
教育長	<p>そうですね、私も皆さんのご意見のとおりだと思います。</p> <p>次に、学習の活用という視点から、伺いたいと思うのですが、学んだことを生かそうという視点から見て、それぞれの評価、いかがでございましょうか。</p>
上野委員	<p>学習の活用としては、各社とも自由研究を取り上げております。多くの教科用図書が巻末にまとめて例示しておりますが、東京書籍は、関連ごとなので、例示するのが多く、生徒にとっては大変参考になるのではないかと思います。</p>
松原委員	<p>その東京書籍なのですけれども、単元ごとに生活に生かすという特集がありまして、学習したことが生活と密接に結びついていることや科学の発展に貢献しているということを理解できる内容となっております。</p> <p>このことから、生徒のモチベーションを高めるという意味でも、よい内容だなというふうに思います。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。ここで理科の教科書用図書の採択についてお伺いしたいと思ってご意見いただいてまいりましたが、生徒の目的意識、モチベーションという言葉もございましたが、東京書籍を推薦するご意見が多かったように思います。そこで理科については、東京書籍を採択することでよろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>

教 育 長	<p>それでは理科の教科用図書は、東京書籍にいたします。</p> <p>続いて、音楽一般です。音楽一般の教科用図書は、教育出版、教育芸術社の2社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
石 井 委 員	<p>合唱、器楽、創作の三つがバランスよく掲載されているのは、教育出版だと思います。基礎、広がり、活用の三つで構成されており、各教材にポイントが二つずつ示してあって、非常に丁寧な作りとなっていると感じました。</p>
上 野 委 員	<p>教育芸術社ですけども、音楽学習マップというところに、歌唱、創作、鑑賞、それぞれの指導事項との関連が示されております。イメージを喚起できる写真指導が提示していきまして、生徒にとってもわかりやすい演習になっているのではないかと思います。</p>
教 育 長	<p>2社の特徴を述べていただきましたけど、ご案内のとおり、江戸川区立の中学校は合唱が非常に盛んなところでございまして、歌唱曲の編集という視点からは、いかがでございましょうか。</p>
尾 上 委 員	<p>教育芸術社は、思いやりや友情など、道徳的教育にもつながる歌詞をもつ歌唱教材があります。合唱曲が大変豊富なのは、よいことではないかなと思っております。</p>
石 井 委 員	<p>教育出版では、歌唱曲の紹介ページで学習目標のまとまりが配色とイラストで明確になっておりまして、生徒の学習しやすい作りになっていると感じました。また我が国や郷土の四季など、自然の美しさを感じとることができるイラストや写真が、掲載されてもおります。</p>
松 原 委 員	<p>音楽は歌ったり演奏したり作曲したりと、さまざまな活動が大切になります。学習指導要領に多様な音楽表現と示されているように、幅広い音楽活動という点では、教育出版がバランスがよいように思います。</p>
教 育 長	<p>昨今、ご案内のとおりインターネットで音楽をダウンロードできる、簡単にダウンロードできるようになりました。そこだと著作権の取り扱いという観点も大切になってくると思うのですが、その視点からいかがでしょうか。</p>
上 野 委 員	<p>いわゆる著作権ですか、教育芸術社と教育出版、ともに取り扱っております。</p>

	<p>す。</p> <p>ただ、教育出版のほうで、私たちの暮らしと音楽というページで大きく取り上げており、日常的に音楽に触れる機会がある中学生にとっては、印象深く残るのではないかなと思います。</p>
松原委員	<p>音楽が好きな生徒を育てるという点なのですが、またいろいろな活動を通して、音楽への興味、関心を引き出して、積極的に学習できるところから見ても、教育出版のほうでよいかなというふうに思います。</p>
教育長	<p>今、さまざまな観点から、全体のことも考えてお話しいただいたと思いますが、音楽一般の教科用図書につきましては、教育出版がいいというご意見が多かったように、全体としては思います。教育出版を採択しようと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>それでは音楽一般の教科用図書については、教育出版といたします。</p> <p>次に、音楽器学です。音楽器学の教科用図書は、教育出版、教育芸術社の2社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
尾上委員	<p>私たちの江戸川区では、日本のしらべを全中学校で3年に1回実施しております。和楽器を見て、実際に触れて、また演奏してみるという大変にすばらしい機会があると思いますけども、この和楽器の取り扱いも丁寧に見ていきたいなと、そんなふうに思っております。</p>
教育長	<p>今、和楽器のお話をされましたが、そのような視点から、もしあれば、お願いいたします。</p>
松原委員	<p>教育出版では、琴、三味線、尺八他、全部で7種類の演奏が紹介されています。楽器の基礎的な知識や奏法をおさえた後、実際にアンサンブルを中心にした合奏に取り組むつくりになっており、生徒が親しみを持ちやすい編集になっているのではないかなと思います。</p>
石井委員	<p>教育芸術社も同じように、和楽器の特性と基本的な奏法を理解させた後、アンサンブルを中心とした内容となっております。専門的な説明がたくさん</p>

	載っておりまして、少し知識に重点を置いたつくりとなっているように感じます。
教 育 長	ただいま和楽器、日本の伝統音楽についてご意見いただきましたが、それ以外の点についてご意見があったら、お願いしたいと思います。
上 野 委 員	教育出版は、リコーダーの輪唱ですか、この説明が丁寧で、笛の持ち方とか指の番号だとか姿勢も掲載されておりまして、生徒も見やすいと思います。
尾 上 委 員	教育芸術社は、笛の持ち方とかタンギング、あと左手、右手と説明があつて、きちんと書かれております。取り上げている曲数も大変多いと思います。曲の隣に音域をあらわす表が載っているのが、非常に特徴的だと思います。
松 原 委 員	教育出版では、取り上げる曲に目当てとか演奏のポイントが掲載されてあります。曲名の下に学習目標が表示されているので、生徒が安心して学習に取り組める編集になっていると思います。
教 育 長	<p>よろしいですか、ご意見としましては、</p> <p>最初に和楽器の取り扱いの大切さ、それをいただいて、それが生徒が親しみを持ちやすい編集だというようなご意見、さらにリコーダーの使用の説明などご意見いただきましたが、皆様のご意見からすると、教育出版がいいのではないかと思います。それで音楽器学の教科用図書については、教育出版を採用しようと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>それでは音楽器学の教科用図書については、教育出版といたします。</p> <p>次に、美術です。美術の教科用図書は、開隆堂、光村図書、日本文教出版の3社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
石 井 委 員	3出版社とも、絵、彫刻、デザイン、工芸、資料に分類して記載されておりまして、とてもわかりやすくできていると思います。
松 原 委 員	光村図書と日本文教出版は、後半の資料に基本的な表現の技法についてまとめて載せているので、デッサンの場面などで活用しやすいと思います。

教 育 長	他に。
尾 上 委 員	やはり3出版社とも、生徒作品については作者のコメントが記載されています。生徒が実際に作品をつくる時に参考になりますね。また、特に開隆堂が生徒作品や生徒の活動について、多く取り上げて力を入れているように思います。
教 育 長	なるほど。
上 野 委 員	美術といいますか、美術教育においては、豊かな感受性を育むということが肝心だと思います。そのためには、すばらしい美術作品に直接触れさせて鑑賞するということが大切だと思います。その点では、光村図書が質、量ともに教科書としては適切な美術作品を掲載していると思います。
教 育 長	いろいろなご意見をいただいておりますが。
石 井 委 員	日本文教出版は、作品数では光村図書ほど多くはありません。しかしながら、例えば、葛飾北斎の浮世絵では原寸大といたしまして、さらに紙の材質を和紙にすることで、より忠実に作品を再現するような工夫がなされております。
教 育 長	ありがとうございます。 一通り4人の委員さんから、皆さんご意見をいただいて、3社の教科書の特徴、工夫について、ご意見いただきました。学習指導要領に第2学年及び第3学年の目標の一つに、主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高めるとあります。これに書いてある主体的な学習活動の視点からご意見いただけますでしょうか。
尾 上 委 員	今、教育長がおっしゃったその点から見てみますと、光村図書と日本文教出版社が最初に学習の目標や狙いが単元別に示されているので、生徒にとっては、とても学習の見通しを立てやすいのではないかなと、そのように思います。

松原委員	その点でいいますと、日本文教出版は、発想や構想の手がかりとなります。言葉がポイントとして随所に示されているので、作品づくりの意欲が湧き出る教科用図書になっていると思います。また、美術への親しみやすさ、作品づくりの意欲という点で工夫されているのではないかなと思います。
教育長	<p>他の委員はよろしいですか。</p> <p>それぞれの3社とも特徴がありました。皆様のご意見を伺って、美術への親しみやすさとか作品づくりへの意欲、また、主体的な活動などを含めて、総合的な視点から日本文教出版がよいのではないかというご意見が多いように思います。そこで、美術の教科用図書につきましては、日本文教出版を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>それでは、美術の教科用図書は日本文教出版といたします。</p> <p>続いて、保健体育の教科用図書に移ります。</p> <p>保健体育の教科用図書は、東京出版、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの4社です。</p> <p>それでは、審議をお願いいたします。</p>
石井委員	各出版社の教科用図書の配列を見てみますと、特徴があります。東京書籍、学研教育みらいでは、学年ごとに保健、体育の順に構成されております。一方、大日本図書と大修館書店は体育、保健の順に構成されております。
尾上委員	生徒の視点から考えてみますと、東京書籍の学年ごとに学習内容が記載されているほうが、いつ何を学ぶか、そういう点でもわかりやすいのではないのでしょうか。
教育長	そういうご意見をいただきました。他に。
松原委員	大日本図書では、体育に関する内容などに比重をかけています。学研教育みらいは、保健分野に比重をかけているんじゃないかなと思います。
教育長	なるほど。他の委員、ございますか。

上野委員	大修館書店は、多くのコラムや事例を掲載しております。そして、生徒の学びを深めたり進めたりするのに活用しやすいように工夫が施されているように思います。
教育長	他にございますか。
石井委員	東京書籍では、他の教科や他の学習内容とのリンクが記載されておりまして、学習を深める上で活用しやすくなっていると思います。
教育長	よろしいですか。皆さんからご発言いただいて、それぞれの教科書の特徴について、ご意見をいただきましたけど、保健体育においては、知識の習得だけでなく、日常生活での活用実践、これが大変重要だと考えます。そのような視点からいかがでしょうか。
尾上委員	4出版社とも学習の流れがしっかり工夫されていると思います。学習課題の確認から導入の問題、それから本文や資料、まとめや学習内容の活用について、とてもわかりやすいと思っております。
松原委員	その中でも、東京書籍と学研教育みらいは、章末に学習内容の確認、そして活用の問題があります。生徒が問題を実施することで、学習内容の定着が一層図られるのではないかと考えます。
上野委員	こういうふうに来ると、なかなか二者択一することは悩ましいんですけども、東京書籍は、振り返りの問題だけではなくて、学習のまとめとして、生徒の自己評価がありまして、学習をより深めていると考えられます。その点を考えますと、東京書籍が適しているのかなと思いますけど。
教育長	<p>よろしいですか。いろいろご意見いただいて、4社の特徴についてお話しいただいたら、日常生活での活用実践などについての視点をかたまったご意見いただきましたが、そうしたところでは、東京書籍のほうに適しているんじゃないかと、推す意見ということが多いと思いますが、保健体育の教科用図書は、東京書籍を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>

教 育 長	<p>それでは、保健体育の教科用図書につきましては、東京書籍といたします。次に、技術・家庭（技術分野）に入ります。技術分野の教科用図書は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。それでは、審議をお願いいたします。</p>
上 野 委 員	<p>開隆堂は、各章の初めに内容に関する歴史が記載されており、その技術の議題の流れがわかりやすいと思います。</p>
石 井 委 員	<p>東京書籍は、最初に学ぶ内容を簡潔にあらわし、小学校での学びや他の教科との関連についても記載があります。生徒が見通しを立てて、学習に取り組むための工夫がされていると感じました。</p>
教 育 長	<p>他にありますか。</p>
尾 上 委 員	<p>教育図書は、本文において余白が多くとられています。教師の説明をメモしながら聞き取ることができるように工夫をされていると思います。</p>
松 原 委 員	<p>学習のまとめなのですが、各出版社のまとめ方がちょっと異なっていると思いますね。教育図書は章のまとめと章末問題を記載し、開隆堂は生徒の振り返りの自己評価と活用について、東京書籍は振り返りの自己評価とまとめの問題、さらに活用について記載されているように思います。</p>
教 育 長	<p>今、4人の委員さんからご意見をいただいて、それぞれの教科用図書の特徴を比較したら、技術分野では、情報に関する分野について取り扱っています。情報モラルは、私が言うまでもなく、中学校において大変重要な点だと思いますが、そのような視点から教科書を見て、いかがでしょうか。</p>
尾 上 委 員	<p>東京書籍と開隆堂が多く取り扱っていますね。特に東京書籍は、説明だけでなく、活用方法について生徒に考えさせるということで、日常生活での実践につながりやすいと考えています。</p>
教 育 長	<p>松原委員と尾上委員の東京書籍と出ていますが、学習指導要領に、ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料、加工、エネルギー転換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとあります。そのようなものづくりの視点からいかがでしょうか。</p>

石井委員	ものづくりなどの実践的・体験的な事柄につきましては、教育図書が力を入れています。作業の手順が大きな写真であらわされているのも、生徒にはわかりやすいつくりとなっていると感じました。
上野委員	今のものづくりの点から見ますと、東京書籍の特徴といいますか、それは多くの実習例を掲載しておりますとともに、ものづくりの手順を左から右に見開きで示すことで、生徒は見通しを立てやすく、そして作業がしやすいように工夫されていると思います。
教育長	他に。
松原委員	加えてといいたいでしょうか、東京書籍はものづくりの技術だけではなくて、勤労観、また、職業観に関する項目を多く取り上げております。そういう点で、キャリア教育の視点が充実しているとは思いますが。本区は、「チャレンジ・ザ・ドリーム」を実施しておりますので、キャリア教育に力を入れているということですので、適しているのではないかなと、こういうふうを考えます。
教育長	<p>他にご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>多様なご意見いただきました。まさに特徴について、そういうお話をいただきました。情報に関する技術、情報モラル、それからものづくり、それから、今、キャリア教育の視点というのもございましたが、そういうことを考えますと、全体として、東京書籍を推す意見が多いように感じました。</p> <p>そこで、技術・家庭の技術分野の教科用図書につきましては、東京書籍を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>それでは、技術・家庭（技術分野）の教科用図書は、東京書籍といたします。</p> <p>続いて、技術・家庭（家庭分野）です。</p> <p>家庭分野の教科用図書は東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。</p> <p>それでは、審議をお願いいたします。</p>

松原委員	どの教科用図書も写真、図、表を多く扱って、とてもわかりやすく、見やすくなっていると思います。生徒がイメージを持って、基礎的な知識と技術を身につけることができると思います。
教育長	他に意見は。
石井委員	東京書籍と開隆堂は、初めのガイダンスの部分を多くいたしまして、生徒が全体の学習の見通しを立てやすくなっていると思います。
教育長	他に。
上野委員	教育図書の特徴ですけれども、これは各章の初めに技術度チェックというのがあります。それぞれの学習内容について、生徒の自立を意識し、取り組めるように工夫されていると思います。
教育長	ありがとうございます。
尾上委員	東京書籍は必ず身につけさせたい技能を一項目としてまとめています。生徒自身が技能の習得をしやすいのではないかと、そのように思います。
上野委員	もう2社ですけれども、東京書籍と開隆堂が作業の手順について、左から右へ写真やイラストを使って示しているのは、生徒にとって、全体の流れが大変わかりやすいのではないかと考えます。
教育長	今、3社についてのいろいろなご意見をいただきました。内容面については、いかがでございましょうか。
尾上委員	教育図書ですけれども、口絵に年中行事が私たちの暮らしとしての衣食住の生活にかかわる伝統的な文化を取り上げていました。日本の伝統を知るだけでなく、家庭や地域のつながりも含めて大切にしてほしい、そういう内容だと思います。
教育長	他に。
松原委員	東京書籍と開隆堂が調理の実習面の中で、献立名やその献立を組み合わせ

	<p>た調理の手順、時間の経過と合わせて示しております。ただ、調理をするだけではなくて、食事の視点でよく考えた工夫だと思います。</p>
石井委員	<p>東京書籍はプロに聞く、そして、関連の深い仕事についている人たちからのメッセージを紹介しています。生徒の勤労観や職業観を育む内容となっていると思います。</p>
教育長	<p>他にございますか。</p>
上野委員	<p>これはまた悩ましいですね。3社とも特徴あるよい工夫がされているんですけども、資料のわかりやすさや内容面の充実を総合的に比較考量いたしますと、やはり東京書籍が適しているのかなと思います。</p>
教育長	<p>今、上野委員からもありましたけど、3社とも非常に特徴があって、よい工夫がされているということですが、最終的に東京書籍を推す意見が多いように感じます。</p> <p>技術・家庭の家庭分野の教科用図書は東京書籍を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>それでは、技術・家庭（家庭分野）の教科用図書は東京書籍といたします。次に、英語です。</p> <p>英語の教科用図書は、東京書籍、開隆堂、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の6社です。</p> <p>それでは、審議をお願いいたします。</p>
尾上委員	<p>英語の目標には、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの技能があります。全ての会社がマークや記号などを使って、どの活動がどの技能を使っているのかをわかりやすく表示していると思います。</p>
石井委員	<p>四つの技能のバランスにつきましては、各教科書会社を見てもみると、聞くことでは開隆堂が力を入れているようです。話すことは学校図書と光村図書、読むことに比重をかけていますのは三省堂と教育出版、書くことに関しては東京書籍と考えられます。</p>

教 育 長	ただいまお二人の委員さんから聞くこと、話すこと、読むこと、書くことという視点について、各教科書のご意見をいただきましたが、小学校の外国語活動との円滑な接続も重要だと思います。その視点からいかがでしょうか。
上 野 委 員	いずれの出版社も小学校の復習や中学校への導入というものを最初に構成しておりますね。教室で使う言葉や身の回りについての言葉など、15ページ前後で構成されているので、円滑な接続が可能となっていると考えます。
教 育 長	そうですね。小学校の外国語活動との円滑な接続については、いずれの会社のものもということですね。では、全体の構成という点で、お気づきの点はありませんでしょうか。
松 原 委 員	生徒の学習の流れを考えた場合なんですけれども、まず、見通しを立てることが大切だと考えます。その点におきまして、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版は、最初に目標や狙いが明確に示されているので、よいのではないかなと思います。
石 井 委 員	見通しをさらにはっきりと立てるためには、基本文やその章のポイントが先に提示されているということがわかりやすいのではと考えます。開隆堂と三省堂では、本文より先にそうした項目が記載されていますので、わかりやすいと考えます。
教 育 長	他にございますか。
尾 上 委 員	開隆堂と光村図書が読むことについて、本文を音読した回数をチェックする欄というのが設定されていますね。学習の記録として、本当に効果的ではないかなと、そのように思います。
松 原 委 員	開隆堂、三省堂、そして教育出版の3出版社は、到達目標に関して、自己評価ができるリストが記載されているんですね。生徒の主体的な学びに結びつけるための工夫がされているというふうに思っています。
教 育 長	他にございますか。

上野委員	<p>学習の振り返りとしては、三省堂は文法のまとめが各レッスンの後にあります。こうすることで、学習内容の定着が効果的となり、総合的に見ますと、バランスがよいと考えます。</p>
教育長	<p>そうですね。難しいところだと思いますが、学習の流れの見通しを立てること、先ほどお話しいただきましたよね。あとは、生徒の主体的な学びに結びつけるという点、それから学習の振り返り、総合的に見て、バランスがいいというようなご意見を出されたのは三省堂だったというふうに思います。</p> <p>そこで、英語の教科用図書は、総合的に見て、三省堂を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>それでは、英語の教科用図書については、三省堂といたします。</p> <p>以上で、中学校が平成28年度より使用する教科用図書の採択が全て終了いたしました。</p> <p>第45号議案、平成28年度中学校教科用図書の採択の審議を終了いたします。</p> <p>ここで、教育長として一言ご挨拶をさせていただきます。</p> <p>去る平成27年6月5日、平成28年度教科用図書の見本本の展示から本日まで、教科書の採択事務を行ってまいりました。教科用図書選定資料検討委員会の委員の皆様には、各見本本を詳細に比較・検討いただき、各学校からの研究報告書、区民の皆様の見解等を参考にして、詳細な報告書をまとめていただきました。検討委員会の委員の皆様には、厚く御礼申し上げます。また、各教育委員の皆様には、委員としての立場を踏まえたたくさんの時間を費やしていただき、見本本の検討・比較研究を行い、それぞれの立場から信念を持って、意見を述べていただきました。</p> <p>おかげをもちまして、本日、終了することができました。皆様のご努力に対しまして、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>以上をもって、本件を終了することといたします。</p> <p>続いて、日程第3の教育関係事務報告に参りますが、ここで10分間の休憩をさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>

教 育 長	<p>では、今から10分間休憩いたします。その後、再開いたします。よろしくをお願いいたします。</p> <p>〔休憩〕</p>
教 育 長	<p>それでは、再開させていただきます。</p> <p>日程第3、教育関係事務報告。</p> <p>初めに、教育委員会後援名義の使用承認についての報告に入ります。それでは、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
柴田教育推進課長	<p>教育推進課から後援名義の使用申請につきまして、1件ご報告をさせていただきます。</p> <p>一覧をごらんいただければと思います。</p> <p>行事名、「江戸川区の歴史を学ぼう 歴史学講座Part 1」でございます。申請者は江戸川区歴史民俗史話会会長でございます。講演回数は、今回で3回目となっております。事業の目的でございますが、区民参加の勉強会を通じ、郷土江戸川区の歴史を学ぶ機会を提供することを目的に、講演会及び歴史学講座全3話を行う。日本語のはじまりなど、毎回、異なる内容の講座を開催するというものです。実施の日時であります。平成27年10月10日土曜日から11月28日までの土曜日4日間でございます。2カ月の間で、第2、第4土曜日、計4回の開催ということでございます。グリーンパレスの4階403集会室におきまして、区内在住の中高生から一般区民を対象として行うものです。経費の徴収として、各回1,000円、資料代等ということでの徴収をするというものであります。</p> <p>後援の内容でございますが、後援名義の使用というものであります。</p> <p>もう一枚、開催の要綱をおつけしておりますが、こちらをごらんいただければと思います。</p> <p>第3回とありますけれども、これは1年に1回を数えまして、一昨年から第1回がスタート、昨年が第2回、そして本年度は第3回ということになります。テーマ等は、この江戸川区に住んだ最初の住民は誰だろう、そんな単純な疑問をテーマにということで、24年から江戸川区の歴史を学ぼうと開催してまいりました。可能な限り区内の歴史民俗をテーマに、ふるさと江戸川区に愛着を育む手助けとなれば理想的ですと。参加者が興味を持てる内容で、区内に関係のある歴史を学ぶ機会を提供するため、下記の講座を企画しましたということです。</p>

	<p>最初に講演会を行いまして、「日本語のはじまり」というテーマで、こちらの講師を立ててもらおうというのが10月10日(土)です。それ以降、歴史学講座Part 1、第1話「古代の小岩」、第2話「中世の葛西」、第3話「江戸時代の江戸川区」と、こういったそれぞれのテーマで、この講演を行うというものであります。ちなみに、一昨年は「江戸川区の歴史を学ぼう 考古学ゼミナール」ということで、Part 1、昨年がPart 2と続いてまいりました。今年は江戸川区の歴史を学ぼうということでのPart 1、恐らく来年度はPart 2を予定するということだと思えます。</p> <p>こちらに記載されているとおり、3回目の後援名義の申請でございます。以上でございます。</p>
教 育 長	今、ご説明いただきましたが、ご質問、ご意見ございますでしょうか。
上 野 委 員	この歴史民俗手話会の会長さんは、いわゆる郷土学者というか、そんな感じの方なんですか。
教育推進課長	この会自体が、そうした歴史に興味のある方々が集まって勉強しようということやってこられた方ございまして、その会が3年前に少し会則等を変えまして、こういった活動をしていきたいと思います、ずっと活動をされている団体であります。
尾 上 委 員	こちらに経費という部分の中で、1,000円、資料代となっておりますけれども、こちらは、この講師への御礼だとか会場費がかかっているのかもしれませんが、これは資料代の中に含まれている経費なんですか。
教育推進課長	今回、予算書ということでいただいておりますけれども、参加費をいただいた上で、主催者の会も一部負担をしながら、それが収入でございます。支出の内容としては、会場の使用料、それから会場の附帯設備の使用、講師謝礼、それからレジュメの印刷代、通信費等で、予算を計上されております。
上 野 委 員	これは3回目ですね。だから、前に2回やったとお話がありましたけど、前の2回も専門的な講をやっていたんですか。
教育推進課長	過去2年間、Part 1として考古学ゼミナールというのをやられました。内容としては、同じように、江戸川区の歴史の、一昨年、それから昨年に

	<p>かけては、年代ごとに区切りまして、最初がたしか縄文から始まり、縄文、弥生、古墳時代、そういうふうに年代を追って、2年間やりました。今年はちょっと内容を変えて、考古学ではなくて江戸川区の歴史を学ぼうというテーマにして、歴史学講座のPart 1でございます。</p>
上野委員	<p>そのときも、そういう学者先生方が講師になって来ているんですか。</p>
教育推進課長	<p>昨年もちよっと申し上げたんですけれども、実は、考古学Part 1、一昨年の方に、私も参加させていただいたんですが、文化財保護審議会の審議委員さん、大学の先生方が講師に頼まれておりまして、審議会の委員長さん、そのときに講演をされました。</p>
石井委員	<p>どのぐらいの人数が参加されていらっしゃるんですか。</p>
教育推進課長	<p>昨年の実績でありますけれども、1回当たりに約35名ということでありまして。40名定員に対して35名ということですよ。</p>
教育長	<p>よろしいですか。いいですか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教育長	<p>他になければ、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>続いて、いじめ電話相談についての報告に参ります。それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
稲垣指導室長	<p>いじめ電話相談、平成27年7月分について、ご報告いたします。</p> <p>別紙、平成27年度7月分いじめ電話相談、7月1日から7月31日分の表をごらんください。</p> <p>この7月につきましては、いじめの電話相談はゼロ件でございました。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	<p>何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>

教 育 長	<p>では、ただいまの報告事項を了承させていただきます。</p> <p>以上をもちまして、平成27年第15回教育委員会定例会を終了いたします。お疲れさまでございました。</p> <p>閉会時刻 午後2時49分</p>
-------	--